

第5回太田市ごみ減量市民会議 議事録

○日 時

平成26年 1月29日(水) 13時30分～15時30分

○場 所

太田市清掃センター3F厚生室

1. 開 会

2. あいさつ(太田市ごみ減量市民会議 会長 高橋 輝明)

3. 報 告

① 第2回ごみ減量市民会議提言書編集委員会の報告及び提言書(案)の内容について

編集委員より

提言書(案)の概要を以下の内容でまとめました。その概要に追加してもらいたい内容やこの内容は削除してもらいたい事あればこの後の「提言書(案)」についての自由討論の中で述べていただきたい。

提言書(案)の概要

1. 太田市のごみを取り巻く状況について

ごみについての国の考え方に基づいた太田市のごみ行政の経緯を述べています。

2. ごみ減量の考え方

国全体が抱えているごみの問題と太田市が現在抱えているごみの問題を述べながら「今なぜごみの減量化」について考察しています。

(1) 社会的背景

国のリサイクル法の施行に基づき、太田市でのリサイクルの取り組みについて述べております。

(2) 問題点の把握について

○ ごみの分別について

市内で出される燃えるごみの袋を無作為に回収して、ごみの分析調査をおこなった結果について述べています。

○ ごみの資源化について

ごみの資源化の重要性について述べています。

○ 排出者責任について

ごみを出す人の責任について述べています。

○ ごみ処理経費の不公平負担について

排出するごみの量に関係なくごみ処理費を負担している事に公平性が確保できてないのではないかという問題について述べながら、検討すべき解決策の1つを述べています。

○ 現焼却炉の延命化について

平成33年の新炉建設まで現焼却炉の安全・安心の運転には、可燃ごみの減量化が必要である事を述べております。

○ 焼却灰の処理について

焼却灰の搬送・処理費や環境負担の軽減については、ごみの減量が必要である事を述べております。

(3) 総合的な廃棄物行政の考え方について

○ ごみ分別の必要性と重要性について

社会的背景や問題点の把握をまとめて、ごみ分別の必要性と重要性の再認識について述べております。

3. ごみ減量化施策について

ごみ減量の施策として【家庭ごみ】と【事業系ごみ】に分けて述べております。

【家庭ごみ】について

- (1) 市民の減量意識の啓発について
市民に対してごみ減量の意識向上させる方法等について述べております。
- (2) ごみ分別の徹底について
なぜ分別が必要なのか考えながら①4Rの徹底②集団回収の充実③生ごみ処理槽設置助成金を利用した生ごみの資源化④古布の回収⑤小型家電の回収⑥廃食用油の回収についてのさらなる拡大について提案し、現状の分別収集の課題と見直しについても述べております。
- (3) ごみ行政の経費と環境責任について
市民一人当たりのごみ処理経費について述べるとともにごみ処理に必要な経費の適正な負担について提案し、各家庭が減量した場合の処理費等の削減額等についても述べております。
- (4) 不法投棄と対策について
不法投棄対策についての提案を述べております。

【事業系ごみ】について

- (1) 処理経費と処理方法について
ごみステーションに事業系ごみが排出されないための方法等について述べております。

4. 今後の課題について

- (1) ごみ処理料金の見直しについて
市民に理解を得られ、減量効果の見込める手法等を検討することを述べております。

(2) 新焼却炉の建設について

ごみの減量が可能になれば、コンパクトで効率的なかつ建設費用を抑えた新焼却炉を建設できる事について述べております。

(3) 焼却灰の処理について

埋め立て処分以外の方法の検討も必要である事を述べています。

②ごみ提言書の協議について（自由討論）

委員 古布の回収を各行政センターでおこなってほしい。また、廃食用油の回収は、どのようにおこなっているのか。

事務局 古布等の回収については、現在、NPO法人が1ヶ所の行政センターでおこなっているが、この提言書を受けて、市が拠点回収をおこなうか、NPO法人が他の行政センターに拡大していくか検討していきたい。廃食用油については、市が事業主体になり、2カ月に1度行政センターで回収をしています。回収した廃用油は、民間会社に売却をしています。

委員 先程の説明のあった提言書の内容については、とても良いと考えるが、今度は、それを市民にどのように伝達していくかである。布等の回収については、NPO団体がおこなっているが、いつでも出せるというような「ゆとり」があつて良いと考えます。その他では、車のオイルの回収した方が良いと考えます。現在、車のオイル交換を自分でおこなう人が多く、使用済油をオイルパックに詰めてごみに出しています。それを廃食用油と同じよう各行政センターで試行的に回収するのも良いと考えます。

委員 提言書については、内容も良くかなりまとめてあると思います。このような会議は、とても大事な事なので継続しておこなってもらえればと考えます。ただし、ごみ減量の施策の内容については、より具体的に述べてもらえれば良いと考えます。

編集委員 回目の編集委員会の会議の中で検討します。

委員 ごみの減量をして、塵芥車等のごみ収集車の往来を少なくすることが必要だと思う。また、年2回行われているクリーン作戦だが、ごみ減量等に関するイベントも絡めて行ったらどうか。そういった意見もこの提案書に加えてほしい。

委員 「その他プラスチック」について、ある市民に話したところ、今回徹底的に集めてみたが、かなりの量が家に溜まってしまった。「その他プラスチック」の収集日が少ないため、溜まりすぎたため、途中でやめたが、集めている時は、黄色いもえるごみの袋に入れる物がかなり少なくなったとのことだった。ぜひ「その他プラスチック」の収集日を増やすか各ステーションに置いてあるその他プラスチックの容器である網を増やしてほしい。

委員 私も同意見である。やはり「その他プラスチック」はかなり溜まってしまう。

事務局 他の市民でも「その他プラスチック」の収集日を増やしてほしいとの意見を聞いています。ごみ減量には、その他プラスチックを資源として収集することは、とても大事な事の1つなので、来年以降検討していきたいと考えます。

委員 回収のための網や収集日を増やすことは、間口が広がり不法投棄等が多くなる場合がある。地域によって格差があると思うが、地域の人達に確認しておこなってほしい。

事務局 了解しました。

委員 色々な意見があると思うが、まず、ごみの減量には、市民にごみ分別を徹底してもらう必要がある。そのために、行政がごみ分別の周知徹底をおこなってもらいたい。それと生ごみはたい肥化できるため、ごみの分別品目にしてもらい、資源物の扱いとしてもらえれば良いと考えます。

委員 焼却灰については、埋め立てにも限界があると思うが、他に施設

とかで処分できる方法はないのか。

事務局 清掃センター内に焼却灰を処分する灰溶融炉はあります。ただし、灯油等使用して燃やすため、ランニングコストがかかるので、現在は休止しております。もし稼働する場合は、今の施設を整備しないと使用できません。整備するだけでもかなりの費用がかかってしまいます。市内や県外の民間の中間処理業者に委託した方がコストも安いので、現在は、そちらで焼却灰の溶融処理を行っています。

委員 ごみの減量やごみの分別等をみんなできるようなモデル地区を作ってほしい。できれば区長さんとかが中心となって行政区でできたら良いと考えます。また、ごみ減量の取り組みが顕著な行政区には、市で表彰等をして、その取り組みを他の行政区に周知できれば良いと考えます。

委員 生ごみ処理機等の助成を太田市はしているが、その後のケアもしてほしい。生ごみ処理機等を購入して有効に利用できるよう説明会等を開催していただきたい。

委員 生ごみに関して、庭や土地等ある家は、埋めることができるが、アパート等に居住している人はそれができない。それについての対策を考えるべきである。

委員 アパート等については、市や地域の情報が入らないと聞いています。ごみ減量についても、ちゃんと情報が行きわたるような対策も必要である。

事務局 検討していきたいと考えます。

4. その他

- ①次回の会議は、日時 2月26日(水) 13時30分～、
場所 太田市清掃センター3F厚生室で行います。